

令和3年度 年間授業計画

都立南平高等学校

学年 必・選	1 学年 必修	教科	国語	科目	国語総合	単位 数	5
教科書	国語総合 改訂版 現代文編・古典編 (大修館)			使用教材	・常用国語便覧(浜島書店)・意味から学ぶ頻出漢字 3000(第一学習社)・重要古文単語 315(桐原書店)・必携古典文法及び準拠ノート(明治書院)・漢文必携(桐原書店)・現代文読本評論編①(いっずな書店)		
授業担当者名							

		指導内容	指導目標	予定 時数
一学期	中間 考査	【現代文】 ・水の東西(評論) ・人は独創的でありたいか(評論) 【古典】 ・児のそら寝 ・絵仏師良秀	【現代文】 ・文章の展開の仕方、対比されている語句、要約・詳述の基礎力を身につける。 【古典】 ・歴史的仮名遣いについて理解させる。 ・出来事と心情とを理解させる。	30
	期末 考査	【現代文】 ・羅生門(小説) ・「一つのメルヘン」他(詩) 【古典】 ・徒然草(随筆) ・漢文の基本・故事成語・論語	【現代文】 ・心情と情景のつながりを意識させる。 ・修辞技巧や表現上の特色と作品に与える効果を理解させる。 【古典】 ・人間や自然に対する作者のものの見方・感じ方を読み取らせる。 ・古語の品詞と活用を理解させる。 ・漢文の基本的な構造を理解し、訓点の知識を身につけさせる。	40
二学期	中間 考査	【現代文】 ・夢十夜(小説) ・自然と人間の関係をとおして考える(評論) 【古典】 ・伊勢物語(物語) ・古代の史話	【現代文】 ・心情と情景のつながりを意識させる。 ・近代的価値観が自然にどのような影響を与え、現代には何が求められているかを学ばせる。 【古典】 ・場面の区切りを把握し、心情を読み取らせる。 ・比喩などに注意しながら筆者の主張の内容を読み取らせる。	30
	期末 考査	【現代文】 ・言葉についての新しい認識(評論) ・グローバル化とグローバリズム(評論) 【古典】 ・土佐日記(日記) ・奥の細道(俳諧) ・唐詩	【現代文】 ・言語論の古典をじっくり扱い、言語に対する基本的な考え方を身につける。 ・グローバル社会に生きる上で必要な、グローバルという概念がもつ本音と建前を理解させる。 【古典】 ・女性仮託の意味を考えさせる。・修学旅行で訪れる平泉について理解を深めさせる。 ・各詩がうたわれた状況、各詩に描かれた状況、作者の心情について理解させる。	35
三学期	学年 末考査	【現代文】 ・「知る」と「わかる」こと(評論) ・富嶽百景(小説) 【古典】 ・枕草子(随筆) ・唐代の文章	【現代文】 ・対比されているキーワードの定義をまとめ、科学の倫理的な問題を考えさせる。 ・太宰治の作品に触れ、小説読解の基礎を身につけさせる。 【古典】 ・当時の貴族社会など古典常識を理解させる。 ・漢文を読み取り、当時の社会状況を考えさせる。	40
	計			175

評価の 観点・方法	関心意欲をもって取り組んだか、語句の正確な理解力・文章の的確な読解力・豊かな鑑賞力が身についたかを、定期考査を中心に、提出物・授業態度・感想文・小テスト等で総合的に評価する。
--------------	---